

小中一貫校

予定されている主な学校行事

4月	
5月	小中学校対面式
6月	中学校体験（部活動）、中学校見学（体育大会）
7月	
8月	
9月	小中学生の交流会（各学年随時）

10月	中学校見学（合唱コンクール・国際クラブ発表会）
11月	中学校体験（授業体験）
12月	合同ボランティア（校区清掃）
1月	国際クラブ交流会
2月	児童会生徒会交流会
3月	

特色ある学習活動等

施設連携型小中一貫校として

「たくましく未来を切り開く心豊かな子どもの育成」をめざす。

①めざす子ども像

国際社会の一員として、自ら考え主体的に行動する子どもの育成

②重点目標

- ・小中一貫教育実践の創造
- ・多文化共生教育の充実
- ・英語教育の充実
- ・学力・体力の向上

小中教職員が連携し9年間を見通した「学び」や「育ち」を大切にした教育をめざします。

小中学校共通の目標を掲げ、児童生徒の交流を軸とした部活動体験、授業体験を行います。

また、中学校教員による様々な教科の出前授業を行います。

③【大池生活プラン】

子どもたちが自己実現を確立していくためには、「自尊心」、「自己有用感」を高めていくことが重要で、学校教育の中でこれを支える力を育成していくことが必要です。

・基本的な姿勢・態度として、「適切なあいさつ」「清掃」「時間を守る」「人の話を聞く」「自分の

考えを話す」ことのできる児童生徒の育成に取り組みます。

④【大池学習プラン】

確かな学力の向上を図るために、支えあい高めあう集団作りを行うとともに、子どもたちが落ち着いて学習に集中することができる環境づくりに取り組むことが必要です。

・基本として、「学習に向かう姿勢」を。「学習スキル」として、相手を意識した話し方・聞き方・読み方・見やすくわかりやすいノートづくりと「家庭学習」として自学自習の習慣をつけていきます。

⑤【大池多文化共生プラン】

国際的な視野に立った人材を育成するために、自己のアイデンティティの確立をめざし、違いを認め合える集団づくりに取り組むことが必要です。

・「国際理解教育」として、グローバルな協調性・英語教育の推進を。「国際クラブ」で外国にルーツをもつ子どものアイデンティティの確立をめざします。また、「地域学習」として、韓国・朝鮮に関連ある施設の活用をしていきます。

特色ある学習活動等

■ 英語学習の充実

週1日、中学校英語教員を小学校に派遣し、英語学習のサポートを行います。また、小学校では小3年から英検ジュニア、中学校では全員、実用英語技能検定を学校を会場として受検します。

特色ある学習活動等

■ 多文化共生教育の充実

日本最大級のコリアタウンを校区にもつ本校は、国際理解を柱とした、多文化共生教育を行います。韓国朝鮮や中国など外国にルーツのある子どもたちのアイデンティティを高めるため、地域の歴史を学び、グローバルな協調性をもつ子どもたちを育んできました。この取り組みをさらに深化・充実させるため、ユネスコスクールの理念を大切に、あらゆる場面で地域の特色や世界のことについて学んでいます。

大池学園

特色ある学習活動等

● 中学生による協同学習

中学生が小学校に行き、小学生の発達に合わせ様々な学習のサポートを行います。また、読み聞かせや運動の補助、行事の手伝いなど、各学年間で、様々な交流を行います。

特色ある学習活動等

● 学校図書館等活用活動（読書活動）

大池小学校を開設するにあたり、『行きたくなる図書室』『本を手に取りたくなる図書室』をコンセプトとして、図書室を改装しました。また、各教室や廊下にも書架があり、子どもたちが自然と本に囲まれるように、そして、子どもたちの読書量が増えるように工夫をしています。

【中学校体験（授業体験・部活動見学）】

毎年2回（6月部活動体験、11月体験授業）実施しています。



【大池小学校図書室】

カフェのような空間で、子どもたちに人気の本がたくさんある図書室です。



【小中交流会】

大池小学校で小中学生全員での交流会です。小学生と中学生とのきょうだい学年で取り組みを行い小中学生同士の連携を深めます。



小中一貫校 大池学園



大阪市立
大池小学校

校長名 高尾 祐彦

所在地 〒544-0005 大阪市生野区中川3-4-3

電話 06-6753-1822 FAX 06-6753-1857

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671499>



主な学校行事

4月	入学式、給食参観・学習参観、学級懇談会、国際クラブ・国際理解学級始業式、遠足
5月	家庭訪問
6月	運動会
7月	おおいけフェスティバル、学期末懇談会
8月	
9月	
10月	遠足、自然教室（5年生）、図工作品展、学習参観、学級懇談会
11月	修学旅行（6年生）
12月	国際クラブ・国際理解学級発表会、学期末懇談会
1月	
2月	学習参観、学級懇談会
3月	国際クラブ・国際理解学級修了式、卒業式

めざす生徒像

- 国際社会の一員として、自ら考え主体的に行動する子ども
- 自己のアイデンティティを持った子ども（自分を知る、仲間を知る）
- グローバルな協調性を持った子ども（挨拶ができる、自分を大切にできる、仲間を大切にできる）
- 未来を切り開くための学力を持った子ども（主体的・対話的学び、社会とのつながりを考える学び）
- コミュニケーション力、英語力、ICT活用を持った子ども
- 未来を切り開くための体力、体力向上の意識を持った子ども（日常的な運動習慣、体力を高めようとする姿勢）

教育目標

たくましく未来を切り開く
心豊かな子どもの育成

重点目標

1. 小中一貫教育実践の創造
2. 多文化共生教育の充実
3. 英語学習の充実
4. 学力・体力の向上

標準服

有



校長先生のメッセージ

学校重点目標の4つの柱の1つである、多文化共生教育の充実は、本校教育活動の大きな特色の一つです。国際理解の取組や民族学級（国際クラブ）、熊貓班級（中国学級）、ホワセン学級（ベトナム学級）の取組、地域について学ぶ取組、韓国・朝鮮、中国をはじめ世界の国々の文化について触れたり学んだりできる取組などを進めています。これらの取組は、「全ての子どもたち一人一人のルーツやアイデンティティを大切にしたい」との思いから端を発しています。「ルーツ」という言葉には、①物事の根元・起源。②祖先。始祖。という大きく二つの意味があります。私たち一人一人は、大変弱く頼りない存在で、一人では心細く感じることも多いと思いますが、名前の由来や生い立ち、家族や親せき、祖先や縁のある土地や建物、故郷や母国といったものについて知ることによって、生きていくための大きなエネルギーを受け取っていると思います。一人一人の子どもたちが、しっかりと自分の「ルーツ」について知り、その意味やつながりを学んでいくことは、大きなエネルギーを受け取ることに繋がっていきます。

また、一人一人のルーツを大切に、ルーツに向き合わせることは、自分を大切にすること、そして友だちのこともルーツを大切に考えることに繋がっていきます。

子どもたちを取り巻く今この環境は、インターネットやSNS、YouTubeなどの情報ツールが溢れ、個々が向き合うようなつながりや距離が離れていっている部分も少なくありません。「子どもたち一人一人のルーツを大切に」することで、子ども同士のつながりを深められる学校をめざしていきます。

令和4年度全国学力・学習状況調査

● 平均正答率（%）

国語	算数	理科
57	57	52

● 結果概要

国語8.6、算数6.2、理科11.3ポイント、全国平均を下回っており、国語、理科は無回答率も高かった。日常の授業では、意欲的に学習に取り組む児童が多く、落ち着いた学習に取り組んでいる。以前より「学力の二極化」が大きな課題となっており、習熟度別学習を中心として、個々の課題に応じた指導・支援に取り組んできたが、依然としてその課題解消には至っていない。その原因としては、各学年において積みあがっているべき学習内容が十分に定着できていないことがあげられる。引き続き、既習事項の振り返りと学習内容の定着の徹底に注力する。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

- 国語科では、語彙力や文法事項等の定着を図りながら、資料を読んでまとめたり、自分の考えを表現したりする学習活動の充実を図る。
- 算数科では、数直線を効果的に取り入れた授業を進めながら、ICT機器を効果的に使用し、数量や図形について実感を伴って理解できる授業づくりを推進していく。
- 理科では、実験・体験的な授業を基本としながらも、科学的な探求や問題発見・解決する活動を通して見出した規則性や関係性を、日常生活や社会と関連付けて考えることができる授業を進める。
- 学校での様々な教育活動において、互いに「学び合う」「認め合う」ことを大切にしながら、保護者・地域とも連携し「褒める」「認める」「見守る」風土を作っていく、難しいことにも挑戦する主体的な気持ちや粘り強さ、自己肯定感といった、子どもたちの非認知能力を高めていく。

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

● 種目別平均値

性別	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	持久走 (秒)
男子	15.16	20.58	35.00	36.81	—
女子	14.23	15.84	37.71	33.52	—

性別	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	合計得点
男子	41.52	9.44	151.34	20.94	51.27
女子	23.68	10.10	139.58	12.23	48.35

● 結果概要

男子は、上体起こし・長座体前屈・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げで、全国・大阪市平均を上回ったが、握力・反復横跳び・20mシャトルランでは、下回った。

女子は、すべての項目で、全国・大阪市平均を下回った。合計得点については、全国・大阪市平均と比べ、男子は同程度、女子は下回った。

「運動やスポーツをすることは好きですか」のアンケートでは、肯定的回答の割合が大阪市平均では、男子91.5%、女子83.4%に対し、本校の男子は93.8%、女子は80%という結果だった。

「学校の体育の授業以外で、一週間の総運動時間」のアンケートにおいて、大阪市平均では、男子631分、女子376分に対し、本校の男子は460分、女子は308分という結果だった。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

- ①週に1回児童集会では、運動遊びを多く取り入れた。
 - ②大縄大会を実施し、各学級で練習に取り組んだ。
 - ③なわとび集会・かけ足タイムを実施し、全校で自分の記録更新に挑戦した。
 - ④持久走強化期間を設け、体育の授業で取り組んだ。
- 本校ではこれまで、以上の取り組みを実施してきたが、昨年度コロナ禍にあつて④について実施できなかった。今後、特に女子児童についても、休み時間など自ら運動に親しむことができるように、運動を日常生活の中に積極的に取り入れることができるよう働きかけていく。



校長名 前田 善久

所在地 〒544-0005 大阪市生野区中川6-3-6

電話 06-6752-3451 FAX 06-6751-9581

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j672480>



教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、国際社会の一員として、個性を生かし、自ら学ぶ態度と心豊かにたくましく生きる力を育む教育を推進する。

重点目標

1. 「小中一貫教育実践の創造」
2. 「多文化共生教育の拡充」
3. 「英語教育の充実」
4. 「学力・体力の向上」

めざす生徒像

国際社会の一員として、自ら考え主体的に行動する子ども

標準服



令和3年度よりブレザーを男女統一しました。

令和4年度全国学力・学習状況調査

● 平均正答率 (%)

国語	数学	理科
62	35	44

● 結果概要

平均正答率は全国平均を下回っているものの、国語では大きな改善がみられた。また、国語・数学ともに平均無回答率が全国平均を上回ることであった。

国語では全国平均と比較して、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」領域において大幅な改善ができたが、「話すこと・聞くこと」領域においては、全国平均との差が広がった。

数学では全国平均と比較して、「関数」領域において平均正答率が上回ったが、「数と式」領域においては、その差が広がった。

生徒質問紙による、「将来の夢や目標を持っていますか」の項目で、全国平均を上回ったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、勉強への不安や家庭学習の時間の作り方などに工夫が必要である。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

引き続き基礎学力の定着を進めつつ、ICT機器を効果的に活用することで理解力を高め、わかる授業を展開するとともに、学年・学校行事においても言語活動の充実を図る。

国語においては、漢字の書き取りや文法学習を丁寧に指導し、書く能力を高めていくとともに、話すこと・聞くことの領域については、生徒同士が安心して自分の意見を「話す」、相手の意見を「聞く」という思いやり、認め合える環境作りを図る。

数学においては、授業内での反復練習を増やし、プリント学習で数と式の基礎学力の定着を図る。また、少人数授業等で個々の理解力を高める授業を行う。

校長先生のメッセージ

大池小学校との施設連携型小中一貫校大池学園として、令和4年度に開校しました。

『生徒に誇れる』『生徒が誇れる』『生徒を誇れる』大池中学校
『先生に誇れる』『先生が誇れる』『先生を誇れる』大池中学校
『地域に誇れる』『地域が誇れる』『地域を誇れる』大池中学校
そして、『生徒が通いたい』『先生が働きたい』大池中学校を目標としています。

9年間を通した「学び」を大切に、学校行事や日々の活動全般について保護者や地域の方々の協力のもと、多文化共生社会をめざした教育を進めていきます。

これまでの歴史と伝統を継承しつつ、地域の誇りとなる小中一貫校をめざしています。

小学校との連携を基本として、教職員が一丸となって努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

運営に関する計画

● 計画のエッセンス

心美しく 誇り高く 逞しく

「たくましく未来を切り開く心豊かな子どもの育成」

● 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

○校内調査において、生徒向けアンケート「自分には、良いところがありますか」の項目で肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。

○校内調査において、生徒向けアンケート「命の大切さや社会のルールについて学んでいる」の項目で肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○自学自習の学習習慣の確立を図るため、校内の学習環境整備やすま学習の啓発に努め、オールタイムで個々の状況に対応できる自習室の活用を推進する。

○連携型小中一貫校としてのカリキュラム作成を進めるとともに、ユネスコ会議の開催や教職員研修を踏まえ、ユネスコスクール認定に向けた学びの一貫性を目指す。

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において学習者端末を毎日使用した割合（学校行事等でICT活用に適さない日を除く）を95%にする。

卒業後の進路

過去3年間で進学者数の多い学校を、国公立・私立等別に五十音順に記載しています。学校名の後ろに過去3年間の進学者数の累計を記載しています。

● 過去3年間の卒業者数

令和4年度	83	令和3年度	63	令和2年度	80
-------	----	-------	----	-------	----

【国公立】

旭 阿倍野 生野 (2) 今宮 (3) 大阪府教育センター附属 大阪わかば (勝山・桃谷) (8) 大手前 かわち野 (2) 高津 (5) 港南造形 清水谷 (3) 住吉 (2) 成城 (8) 大正白樺 天王寺 長吉 (4) 花園 (4) 東住吉 東住吉総合 (9) 東淀川 (2) 布施北 (5) 布施工科 (5) 茨田 みどり清朗 港 (4) 桃谷 (通信制・定時制夜間) (2) 八尾 八尾北 (5) 夕陽丘 桜和 (2) 生野工業 (2) 大阪ビジネスフロンティア (2) 工芸 (6) 桜宮 住吉商業 第二工芸 (2) 鶴見商業 東 東大阪市立日新

【私立および大阪府外校など】

あへの翔学 (7) 上宮 (3) 追手門学院大手前 (5) 大阪信愛学院 (5) 大阪学芸 (6) 大阪産業大学附属 (2) 大阪商業大学 大阪成蹊女子 (2) 大阪電気通信大学 大阪夕陽丘学園 (14) 関西大学北陽 (3) 近畿大学附属 (3) 金蘭会 (2) 興國 (5) 好文学園女子 金光藤蔭 (3) 四條畷学園 常翔学園 (3) 城南学園 (4) 昇陽 (2) 相愛 阪南大学 (4) 東大阪大学敬愛 (3) プール学院 桃山学院 (5) ルネサンス大阪 (2) YMCA学院 (2) 大阪府大高専 生野支援学校 大阪情報コンピュータ高等専修学校 (2) 中央学園 英風女子 大阪スクールオブミュージック 日本理容美容 (2) 東朋高等専修学校 (4) 天理 (奈良) 御所実業 (奈良) 報徳学園 (兵庫) 高知中央 (高知) 関西文化芸術高等学校 (奈良) 神港学園 (兵庫) たまがわ高等支援学校 島根県立島根中央 (2) 京都翔英 大阪美容 私立通信制高校 (3) 未定

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

● 種目別平均値 ※持久走と20mシャトルランのうち、20mシャトルランを選択して実施した。

性別	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	持久走 (秒)
男子	28.84	27.24	37.20	54.91	—
女子	19.86	16.17	41.59	40.85	—

性別	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計得点
男子	90.17	7.90	195.62	17.06	31.62
女子	40.54	9.26	170.60	9.56	30.25

● 結果概要

合計得点において、昨年度より男子は上回ったが、女子は下回った。3年前の体力面を考えると下回っている。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

新型コロナウイルス感染症の影響により、「運動時間の減少」「スクリーンタイムの増加」の傾向がさらに拍車がかかり、全国平均や大阪市平均も合計得点が低下しています。

＜アクションプラン＞

体力の大幅な低下を改善するため、「新しい生活様式」を踏まえ、授業や体育的教育活動の工夫・改善に取り組み、体力全体の向上を効果的に図っていく。